

池田修三木版画展&コンサート

春のメロディー



象潟公会堂をメイン会場に、春を感じる作品で皆さんのお越しをお待ちしています。

期間 4月28日(木)～5月1日(日)

会場 象潟公会堂 (時間10:00～16:00)

イベント日程

4月28日(木)・13:30～15:00

市内コーラスグループ発表

4月29日(金)・13:30～15:00

ケースケライブ

4月30日(土)・1回目11:00～2回目13:30～

小林義昭氏講演と版画実演

5月1日(日)・13:30～15:00

青谷明日香ライブ



小林義昭 (竹芳洞・代表)

現代美術木版画手摺り

処として、横浜市にある

工房・竹芳洞。1971年、

初代・小林宗吉の死去に

より2代目を踏襲。中国での実演や版画指導を

行いながら東京都美術館などで多数実演して

いる。池田修三のほか、前川千帆や川上澄生、

初山滋など多くの木版画家の摺りを手掛ける。

池田修三生誕100周年記念企画展

池田修三の世界

～暮らしを彩る木版画～

期間 6月4日(土)

～令和5年5月21日(日)

会場 象潟郷土資料館

池田修三生誕100周年記念作品展

池田修三とふるさと秋田

期間 6月16日(木)～7月12日(火)

会場 秋田県立図書館 2階・特別展示室

問合せ先 象潟郷土資料館 ☎43-2005

※新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、
内容変更や中止する場合があります。

私たちをつなぐ修三さん

修三さんの木版画を愛し、多くのコレクションを持つ須藤恵子さんと、秋田市で「カフェ月(ゆえ)」を営む佐藤さつきさん。池田修三サポートーとして活動しながら、修三さんをおして交流しているお二人に、生誕100周年を迎える修三さんへの想いを語っていただきました。



1枚の木版画から

須藤 恵子

2010年、両親が亡くなり空き家になった実家を整理していると1枚の傷んだ木版画を見つけた。すぐに、それが修三さんの作品だということは分かりました。それは「春のマーチ(1970)」で、これが私と木版画との出会いになります。

秋田彩画堂さんでカビを取り除き、新しい額に収まった木版画に少し不思議な子どもたちが並ぶと「やっぱいいなあ」と感じましたね。帰りに温故堂さんに立ち寄り、100点以上の作品を見せてもらいましたがとても感動しました。初めて見

る修三さんの風景、さまざまな表情の作品にすっかりファンになっていました。その日は年代の違う3点の作品を購入しましたが、その当時は「これでいいの?」と思う価格でした。木版画手摺り処・竹芳洞さんを知ってからは季節ごとに作品を飾るようになりました。当時から象潟町では結婚や新築の際に、お祝いとして修三さんの木版画を贈っていたように、私も出産などお祝いの際には感謝の気持ちを込めて贈っています。

2012年、フリーマガジン『のんびり』で特集され、再び脚光を浴びた修三さんと木版画、そして街全体が修三さんの作品で飾られた「まちびと美術館」。

四季で彩る癒しの空間

佐藤 さつき

4年前、地元秋田に帰ってきてカフェを始めました。1日1組限定の小さな空間ですが、日本茶をメインとした和カフェとして、修三さんの木版画を楽しんでいただいています。

修三さんの木版画との出会いはまちびと美術館です。興味があり参加しましたが、広報担当として秋田市でチラシを配ったり、イベントでお手伝いしているうちにどんだんはまっていききました。そして、反省会で隣りになった須藤恵子さんとカフェに飾る作品の相談をしているうちに意気投合し、今も交流を続

けています。

店内では恵子さんからお借りした作品を飾り、四季ごとに彩りを変えています。私自身、介護福祉士としても活動していたこともあり、高齢の方や認知症を患っている方、そのご家族が集うオレンジカフェも開催しています。参加してくれる方の中には、特に高齢の方です。修三さんの作品を見ると、とっても元気になるんですよ。風景の作品は「昔を思い出して哀愁を感じる」、子どもの作品は「ウチの孫に似ていてかわいな」とか、さまざまな反応があります。また、今の若い皆さんにもかわいと評判で、女の子の作品も現代でも全然通用す

ると思います。インスタグラムなどは必ず投稿してくれますし、そうやって修三さんが広がっていくんだと思います。

フリーマガジン『のんびり』で取り上げられたことで、再び注目を浴びた修三さんの木版画もともと地元の象潟町では広報紙の表紙や象潟郷土資料館での展示など地域の皆さんにも馴染みが深い存在だったと思います。ただ、秋田市や県内での認知度はまだまだ高いとは言えません。それでも、修三さんの作品をとおして巡り会えたものを大切に、今後も協力していきたいです。カフェ月(ゆえ)が、皆さんの癒しと居場所づくりの一助となってくれば幸いです。



カフェ月(ゆえ)で撮影 佐藤さつきさん(左)、須藤恵子さん(右)